

## 佳作

### 今までの私とこれから

福島県いわき市立玉川中学校

3年 星 真理愛

私が挑戦していることは、毎日学校に行くことです。

私は、入学式から1週間で不登校になりました。特に体調が悪かったり、友達となにかトラブルになったりしたわけでもありません。自分でも何が原因で行けなくなってしまったのか分かりませんでした。不安になったり、罪悪感から自己嫌悪になったりすることもありました。

しかし、休んでいたことで自分自身のことを考えるようになり、たくさんの発見や気づきがありました。私は幼い頃から、人の目を気にしたり、何気ない言葉で傷ついたりしてしまうことがありました。周りを気にしすぎて、自分が言った言葉に傷ついてしまっていないかとか、あの時、相手がどう思っているのかが気になって不安になり、そのことについて、ずっと考えたりもしていました。良く言えば空気を読んだり、人の気持ちを考えたりすることができると思いますが、それが度が過ぎてしまって、とても疲れてしまっていたんだと気づきました。また、大人と関わることの方が増え、いろいろな視点で物事を考えられるようになったり、ポジティブに考えられるようになったりするようになりました。

そんな私が学校に行こうと思えるようになったきっかけは、友達からの普段通りのあいさつでした。1年生の修了式の日、通知表などをもらいにひさしぶりに学校に行きました。5分ほどしかいませんでしたが、ものすごく緊張していました。春休みが終わり、始業式の日にも行きました。その時先生が、

「良かったら、教室の場所が変わったから見に行ってみませんか。」

と言ってくださいました。見るだけなら行けるなと思い、行ってみるとタイミングが悪く、廊下にたくさんクラスメートや友達がいました。どうしようとすごく焦っていた時、みんなが「おはよう。」とか、「やっほー。」と言ってくれました。約1年ぶりだったので、正直何を言われるか分からず、スルーされてもしょうがないと思っていたのでとてもびっくりしました。そして、うれしかったです。心の中にあった重りのようなものが軽くなった気がしました。それからは、週に1回くらいの頻度で短い時間ですが行けるようになりました。だんだん教室に入れるようになり、1時間くらいなら授業に参加することができるようになりました。

3年生になり、修学旅行にも参加できました。初めは、私なんかが行く資格

がないと思っていたのですが、友達や両親が背中を押してくれたおかげで参加することを決めることができました。

修学旅行が終わり、本格的に進路を考えていました。2年生までは、通信制の高校への進学を考えていました。でも、公立の高校に行きたいと思う気持ちも出てきていました。まずは、どんな学校があるのか調べてみると気になる高校がありました。それから、高校説明会や実際に行っている友達に聞いたりして、本気で行きたいと思いました。ですが今のままではまずいと感じ、毎日学校に行けるくらいではないといけないと思いました。学校に行く時に、緊張することはほとんどありませんでした。友達が受け入れてくれることが分かったからです。両親や先生と相談し、まずは週に2日や3日くらいのペースで行こうと決めました。いろいろ考えたり、不安になったりすることもありましたが、行動しないと始まらないと思い、覚悟を決めました。行ってみたら、授業は今まで一人でやっていたので新鮮で、楽しんでできました。追いつけなかったり、分からないところがあったりしても先生や友達が助けてくれました。帰ってきて、意外に行けるかもと思い、毎日行くことに決めました。周りの人たちに心配されましたが、目指している高校に行くという目標のためです。合格したら、どんな楽しいことが待っているのだろうと想像して、がんばれています。そして、先生が気にかけてくださったり、友達が仲良くしてくれたりするからというのもあります。今、良い環境にいるということを忘れずに過ごしていきたいです。

私の挑戦は小さいことですが、自分の力だけではなく、周りの人たちが支えてくださっているおかげでできています。あまり気を重くせず、楽しみながら、コツコツ進んで行きたいです。そしていつかは、誰かの支えになるような優しい人に、私はなりたいです。